

ゴミダス

保存版

gomidas

GOMI Data And Step ごみ情報・対策

目次

・食品ロス削減について考えよう！	2
・家から出る生ごみを使って、段ボールコンポストに取り組んでみよう	4
・いろいろな生ごみ減量の方法	4
・焼却灰のゆくえ	5
・プラスチックごみの削減	6
・新しいペットボトルリサイクルの取組	7
・使用済みつめかえパックを集めています！	8
・紙の分別してますか？	8
・市内で事業を営む皆様へ	8

ごみを出さないまちづくり 「ゼロエミッション」の推進

私たちの生活が豊かになるとともに、生活や企業活動から大量の廃棄物が発生しています。廃棄物の処理にはたくさんのCO₂が排出されるので、その結果、地球温暖化が進み、集中豪雨や台風、干ばつなど気候変動が起こる原因の一つとなります。

深刻な気候変動は、農作物収穫量や漁獲量の減少につながり、食糧不足に陥ることが懸念されます。増え続ける廃棄物の問題を解決し、将来にわたって豊かな暮らしを守り、次世代へと引き継いでいくためにも、ゼロエミッション(ごみを出さないまちづくり)がとても重要です。

私たちにできることから始めてみよう！

小田原市で排出される、燃せるごみの約3割は生ごみです。生ごみは水分が多く含まれているので、水切りをするなどして焼却の効率をよくする必要があります。

そして、その生ごみの中には食べられるはずのものがあつた「食品ロス」が含まれています。

普段の生活の中で、まだ食べられる物を捨ててしまっていることはありませんか？

食べ物の「もったいない」を減らし、「食品ロス」の削減のために、私たちにできることから始めてみましょう。



燃せるごみ削減への取組

■食品ロス削減について考えよう!

●食品ロスとは

「食品ロス」は、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことで、1人あたりに換算すると、お茶碗1杯に近い量の食べ物を毎日捨てていることになります。

日本国内では食品ロスが年間約472万トンも発生しており、そのうち半分の236万トンは家庭から出された食品ロスであると推計されています。(令和4年度推計値)

食品ロスを減らそう

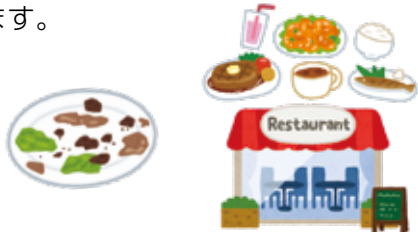


●食品ロスの原因

日本の食品ロスの主な原因は、事業者側と消費者側のそれぞれにあります。

事業系食品ロス

店舗や飲食店などの、売れ残りや食べ残しなどが食品ロスとして出ています。



家庭系食品ロス

家庭から出される食品ロスのことで3つに分けられます。

- ①**食べ残し**：料理の作りすぎなどにより食べきれずに捨てられたもの
- ②**直接廃棄**：賞味期限切れなどにより未開封のまま捨てられたもの
- ③**過剰除去**：野菜の皮や茎などの食べられる部分が過剰に捨てられたもの

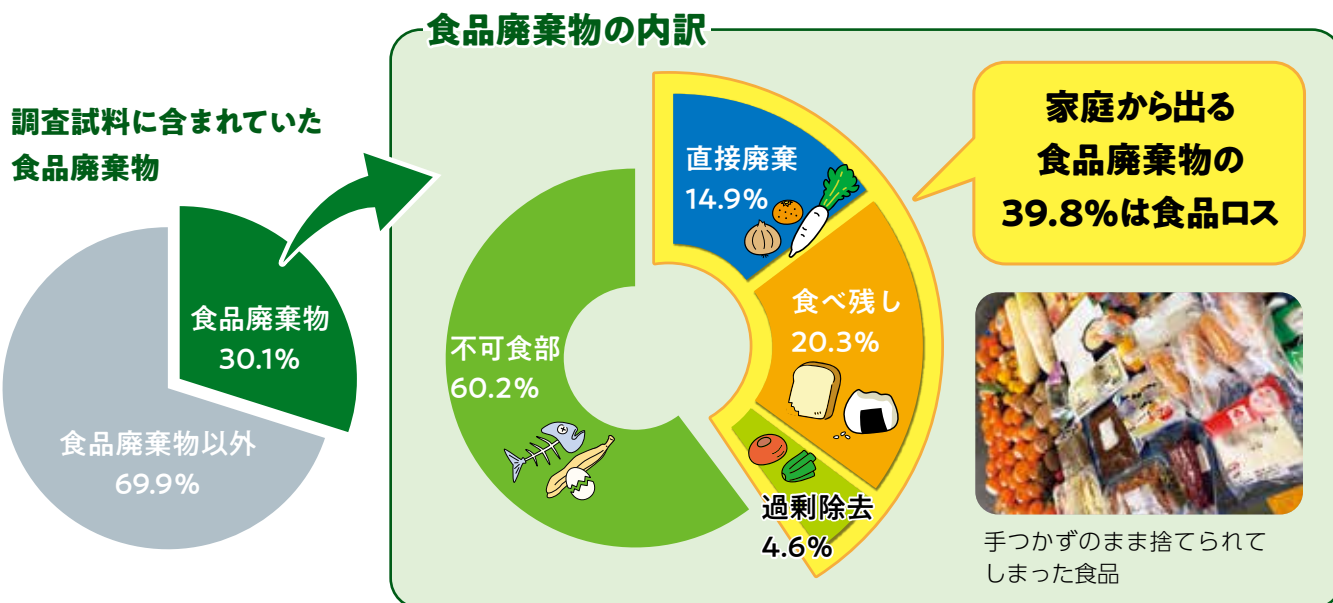


●小田原市の食品ロスの現状

小田原市では、令和6年度に家庭から出された燃せるごみに含まれる食品ロスを調べる食品ロス実態調査を実施しました。

小田原市の燃せるごみの約3割が「食品廃棄物」です。そのうち60.2%は野菜の皮や芯である「不可食部」、それ以外の「食品ロス」は39.8%でした。

食品ロスの内訳は、「直接廃棄」が14.9%、「食べ残し」が20.3%、「過剰除去」が4.6%になりました。



●食品ロス削減のためにできることは

食品ロスを減らすためにはいろいろな方法がありますので、自分に合った方法で始めてみましょう。実施してきた食品ロスを減らすための取り組みとあわせて紹介します。



食品ロス削減
動画はこちら

家庭でできること

買い物編

●買い物前に、食材をチェック

→同じ食材をうっかり買わないようにしましょう。
事前に携帯電話などで冷蔵庫内の写真を撮っておくと、簡単にチェックができます。

●必要な分だけ買う

→使いきれず、消費期限を過ぎないようにしましょう。必要な分だけ買った方が結果的にお得です。

●お店では手前からとりましょう

→お店で消費期限、賞味期限切れとなり廃棄されることが少なくなるように、すぐ使うものは手前から取りましょう。



調理・保存編

●適切に保存する

→使いやすいように小分けにしたり、すぐに食べないものは冷凍したりして、上手に保存しましょう。

●食材を上手に使いきる

→冷蔵庫に残っている食材で作れる料理を考えてみましょう。

●食べきれる量を作る

→作りすぎないように気を付け、残ってしまったらアレンジしてみましょう。



外食時にできること

食べられる量だけ注文し、残ったらお店に相談して持ち帰りも検討してください。

小田原市では、食品ロス削減の取組を行っている市内飲食店を「食べきり協力店」として登録しています。



食べきり協力店
一覧はこちら



夏休みに食材を使いきる講座を開催しました！

「いろいろ乗せちゃおう！エコピザ作り」

講師：マンマピッコラ フロード祐子さん

冷蔵庫に余りがちな食材を使って、ピザを作る講座を開催しました。

今回乗せた食材はコーン・ブロッコリー・トマト・やきとり・ポテトサラダ・ほうれん草・レタス・フライドポテトなど。生地やソースも簡単に作れます。ホームページで作り方をチェックしてみてください。



お肉も野菜もたっぷり！
なんでも乗せられます。



レシピは
こちら

■家から出る生ごみを使って、段ボールコンポストに取り組んでみよう

毎日出る生ごみを「ごみ」として捨てるのではなく、堆肥として「資源」にする方法の1つが、「段ボールコンポスト」です。

段ボールコンポストとは、微生物の力で生ごみを堆肥にする、家庭でできる取組です。

市内在住の方には、初期セットを無料で配布していますので、ぜひチャレンジしてみてください。



段ボールコンポストの
作り方動画はこちら

ベルマーレフットサル
クラブの中澤選手も、
段ボールコンポストで
生ごみの減量に
チャレンジしました!



動画はこちら

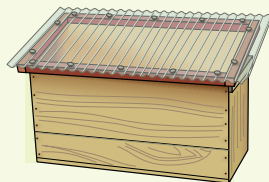
■いろいろな生ごみ減量の方法

段ボールコンポスト以外にもいろいろな減量の方法がありますので、ぜひ、取り組みやすい方法で生ごみの減量に挑戦してみてください。

キエーロ

特徴・メリット

- ・土中にある微生物の働きで生ごみを分解する。
- ・木箱などの入れ物に黒土を入れ、樹脂製の屋根をつけた簡単な構造。
- ・生ごみは分解されて、土の量も増えないので、維持費用がほとんど不要で長期間使用可能。
- ・匂いがほとんどなく、虫なども発生しにくい。



電動生ごみ処理機

特徴・メリット

- ・家庭用電源を利用し、電動で生ごみを乾燥、粉碎、または堆肥化する機器。
- ・処理時間は数時間から1日程度。
- ・生ごみが素早く減量・無臭化され、虫の発生を防ぐ。
- ・キッチンや屋内で簡単に利用できる。



バッグ型コンポスト

特徴・メリット

- ・通気性のあるバッグ型の容器を利用し、生ごみを分解する。
- ・軽量で移動が容易。
- ・設置が簡単で、使い終わったらコンパクトに収納可能。
- ・空気循環が良く、発酵が早い場合が多い。



密閉型EM容器

特徴・メリット

- ・密閉容器内で、有用微生物（EM菌）を利用して発酵分解を行う。
- ・匂いが外に漏れにくい構造。
- ・生ごみを発酵堆肥として再利用できる。
- ・匂いが少なく、屋内でも使いやすい。



■焼却灰のゆくえ

分別できなかった「燃せるごみ」は焼却されて「焼却灰」になります。

令和5年度には1年間で約5,700トンの焼却灰が発生しています。

小田原市では、発生した焼却灰を最終処分場に埋め立てるほか、一部をリサイクルする取組を行っています。

焼却灰



資源化

溶融

焼却灰を高温で溶かして冷やし固めたもので道路工事の資材や公園の石に使用されています。



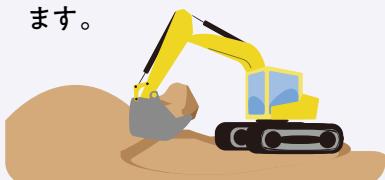
大阪・関西
万博でも
使用されます



施設名:大阪・関西万博
フューチャーライフヴィレッジ
設計:KOMPAS 写真:© KOMPAS

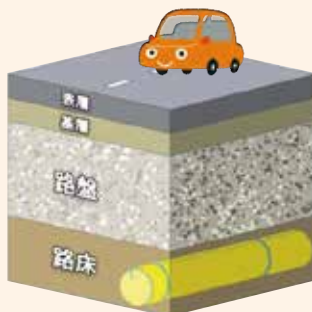
埋立

資源化しなかった焼却灰は最終処分場に埋め立てています。



焼成

焼却灰をもう一度焼いて人工の砂にしたもので、道路の下に敷かれる資材となったり、点字ブロックの材料として使用されています。



道路のアスファルト下に
使われています！

焼却灰の発生量を少なくするためにも、
燃せるごみの削減にご協力をお願いします。

プラスチックごみ削減への取組

■プラスチックごみの削減

軽くて丈夫なプラスチックは、私たちの生活に欠かすことのできない素材です。

しかし、近年、ポイ捨てなどをされたプラスチックが街中から河川へと流出し、海へと流れ込む海洋プラスチックごみが世界中で問題になっています。このまま増え続けると、2050年には海の魚の量よりも、海洋プラスチックごみの方が多くなるといわれています。

そのため、プラスチックの使用方法を見直すことやリサイクルすることが大切です。自分たちの行動を見つめなおしてみませんか。

リデュース Reduce

無駄なごみを出さず、
ごみの発生量を減らす

- ・ごみになるものを買わない、もらわない。
- ・マイボトルやマイバッグを持参する。

市の施設にウォーターサーバーを設置していますので、ぜひご利用ください。

ウォーターサーバー
設置場所はこちら



リユース Reuse

物を繰り返し使用する

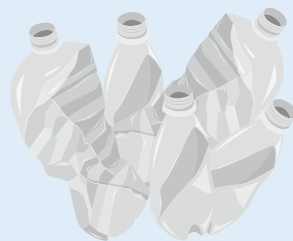
- ・買い物の際、リサイクルショップなどを利用する。
- ・再利用できる“リターナブル容器”を使用している商品を選ぶ。



リサイクル Recycle

ごみを資源として
再生利用する

- ・使ったあとプラスチックごみは資源として分別する。



新たにPR動画を作成しました。
QRコードのアドレスから
ぜひご覧ください。

県西地域2市8町
プラごみゼロ共同宣言



また、世界的な問題となっている海洋プラスチック問題に対し、地域全体で取り組むことを目的に小田原市を含む県西地域2市8町は、令和4年2月に「県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言」を行い、プラごみ^{ゼロ}に向けて、啓発活動を行っています。

トピックス

小型充電式電池・ボタン電池の出し方

ごみを収集する時や細かく破砕する時に、リチウムイオン電池などの小型充電式電池が原因と思われる火災が発生しています。

小型充電式電池やボタン電池は市では収集していませんので、販売店や回収協力店へお持ちください。

なお、膨らんだ電池は回収店で受け取ってもらえない場合がありますので、充電に時間がかかる、バッテリーの減りが早いなどの症状が見られたら買い替えを検討しましょう。



ニカド電池



ニッケル
水素電池



リチウムイオン
電池



◀ボタン
電池
(型式記号
SR、PR、
LRのもの)



回収協力店は
こちら

※リチウムコイン電池（型式記号がCRまたはBRのもの）は「スプレー缶など」の日に出してください。

■新しいペットボトルリサイクルの取組

小田原市はアサヒ飲料(株)・遠東石塚グリーンペット(株)・ペトリファインテクノロジー(株)とペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結しました。

この協定により、メカニカルリサイクルとケミカルリサイクルを組み合わせることができ、リサイクルしきれず捨てられてしまうペットボトルを少なくすることが期待されます。

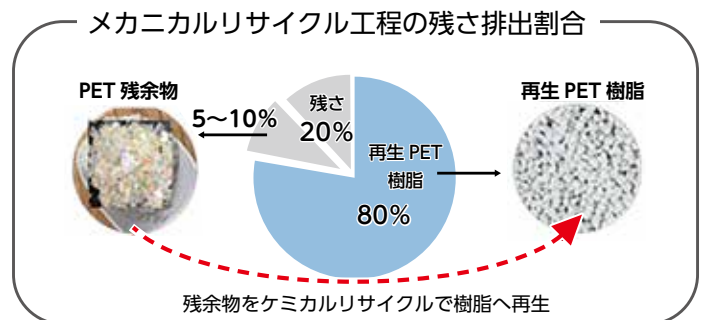


●二つのリサイクル手法の組み合わせ

メカニカルリサイクル（物理的再生法）は、回収したペットボトルから異物を取り除いた後、高温で溶かし、ペット樹脂を再生する手法です。

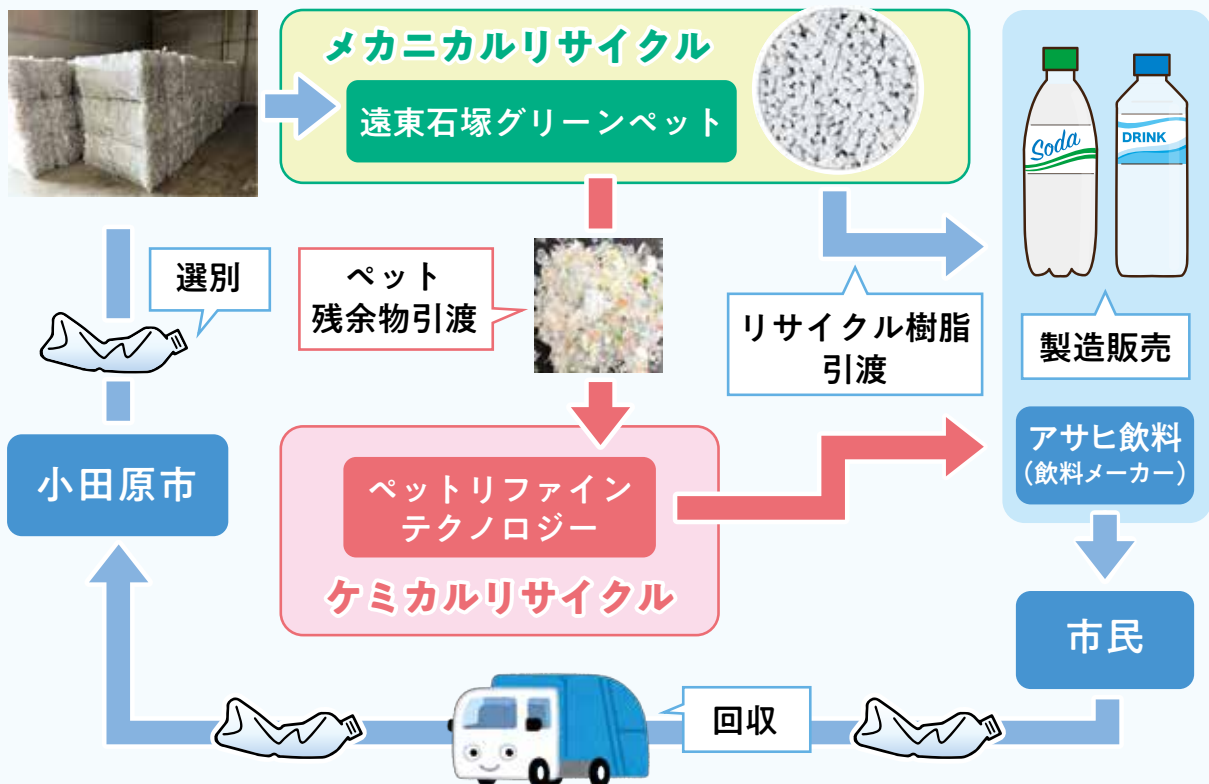
一方ケミカルリサイクル（化学的再生法）はペットボトルを分子レベルまで化学分解して不純物を取り除き、新たな再生ペット樹脂とするものです。

今回の取組では、最初にメカニカルリサイクルを行い、その工程で発生するPET残余物をケミカルリサイクルに回します。



ケミカルリサイクルの原料となるPET残余物は工程の中で5~10%程度排出されるため、従来と比較して**ボトルtoボトル率を5~10%向上**させることが可能

●ペットボトルリサイクルのながれ



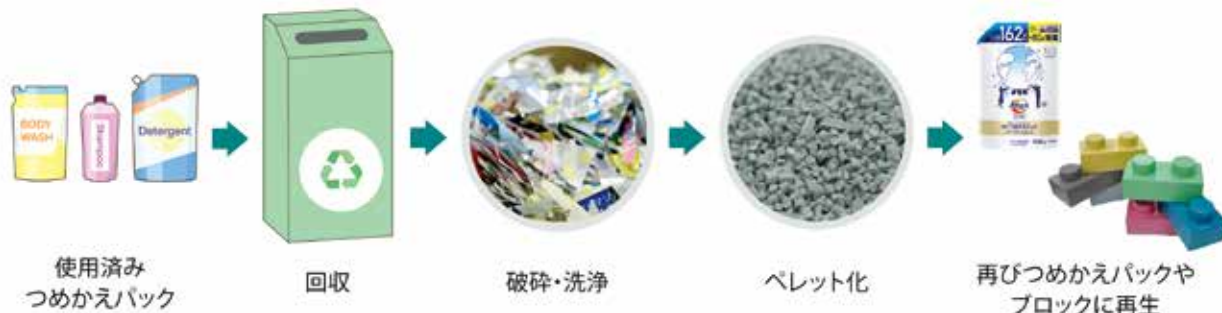
■使用済みつめかえパックを集めています!

小田原市と花王(株)小田原事業場・花王コスメプロダクツ小田原(株)の包括連携協定に基づき、リサイクルリレーション活動を行っています。

この活動により、使用済みのつめかえパックを集め、リサイクルを行っています。

回収ボックスは市役所の2階、4階と環境事業センターに設置していますので、ご協力お願いいたします。

※リサイクルリレーションとは「リサイクル」と「クリエイション(創造)」を組み合わせた花王が考えた新しいことばです。



■紙の分別してますか?

新聞紙・雑誌・段ボール・紙パックはそれぞれ種類ごとに束ねて「紙・布類」の日に出します。

束ねることができない小さな紙も分別して資源にすることができます。

紙袋に入れて「その他紙」と書いて「紙・布類」の日に出してください。

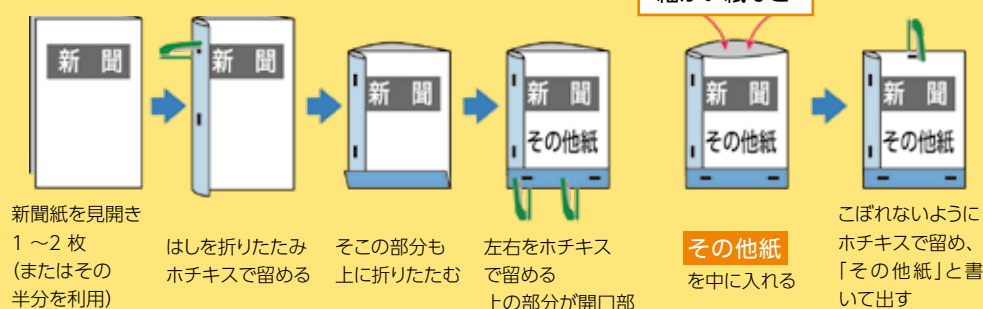
紙袋がない場合、新聞やチラシなどを使って作った袋でも出すことができます。

その他紙



紙袋、「その他紙」用袋に入れてひも・ホチキス・セロテープ等で閉じ「その他紙」と記入して出す

紙袋が無いというご家庭のために、 その他紙用の袋の作成方法を紹介します



■市内で事業を営む皆様へ

事業所(飲食店、事務所、工場などすべての)から出た廃棄物は、可燃・不燃にかかわらず、地域のごみ集積場所へは出せません。

一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬業許可業者と契約し、事業所の廃棄物を分別し適正に排出しましょう。

「事業系廃棄物に関するパンフレット」は、市ホームページの検索欄から、「P36125」で検索。

P36125

検索